

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0380/503020/03/00		事業の種類		4		
年度	19	事務事業名		スポーツ活動推進事業		作成日		平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		社会体育普及振興事業			担当部課名	体育振興課				
政策名		愛着と生きがいを育むまちづくり								
施策名		スポーツ・レクリエーション			実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくり、健康保持等それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		各種目市民体育大会				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	市民体育大会事業等	種目数	26	26	27	23

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.084	101.2	0.081	96.4	
	主幹以下職員	0.900	0.900	100.0	0.500	55.6	0.500	100.0	
	臨時職員	0.150	0.150	100.0	0.100	66.7	0.100	100.0	
支出内 訳	人件費	9,308,731	8,830,304	94.9	5,335,561	60.4	5,270,791	98.8	
	事業費	3,749,505	3,356,250	89.5	2,815,673	83.9	2,590,000	92.0	
	合計	13,058,236	12,186,554	93.3	8,151,234	66.9	7,860,791	96.4	
財源内 訳	国庫支出金			－		－		－	
	県支出金			－		－		－	
	市債			－		－		－	
	その他	612,600	695,400	113.5	695,400	100.0	721,000	103.7	
	一般財源	12,445,636	11,491,154	92.3	7,455,834	64.9	7,139,791	95.8	
	合計	13,058,236	12,186,554	93.3	8,151,234	66.9	7,860,791	96.4	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育大会等実施数							
指標説明(式)		市民体育大会実施数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	26	26	100.0	26	100.0	23	88.5	
	実績	26	26	100.0	27	103.8			
指標名2		市民体育大会等参加者数							
指標説明(式)		市民体育大会等参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3,000	3,000	100.0	3,100	103.3	3,100	100.0	
	実績	3,363	2,959	88.0	3,142	106.2			

【効率性】

指標名1		事業全体コスト							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷市民体育大会等参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,115	1,134	101.7	896	79.0	835	93.2	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市民体育大会等を実施し、体力づくり、健康づくりに応えている。	4	4
	市民ニーズ	市民のニーズに対応したスポーツの入門的部分を網羅できた。		
有効性	成果目標(改善)達成度	各制度の運用、各種振興事業とも概ね良好に運用・実施されている。	4	4
	市民サービス	市民ニーズを的確に捉え、市民サービスに努めた。		
効率性	コストの節減	体育協会において主体的運営ができており、現行の手法で効率性に適切であった。	4	4
	手段の最適性	事業委託により、効率的な運営がなされている。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	適正な参加料を徴収する。

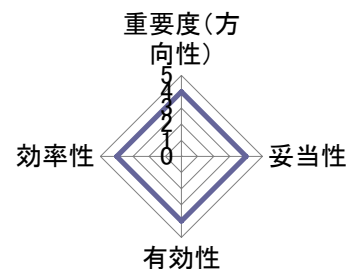
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	コストの節減	すべての事業項目を見直し予算の削減を行った。
H19→H20予算反映額		△ 225,673

(2) 20年度の実施方針

昨年同様の事業を実施する。



検討の有無	—
総合指標	22